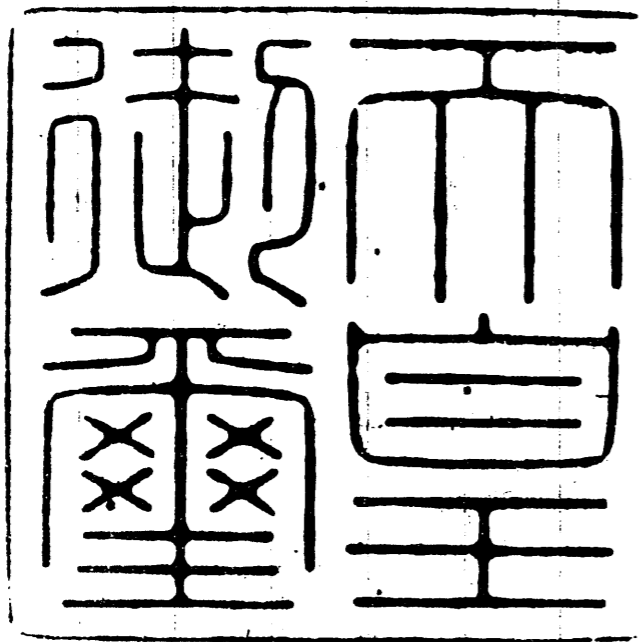


勅令第六十三號

朕勞務調整令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ
公布セシム

裕仁



昭和十六年十二月六日

日

内閣總理大臣 東條英機
拓務大臣 井野碩哉
厚生大臣 小泉親彦

勅令第六十三號

勞務調整令

第一章 總則

第一條 國家ニ緊要ナル事業ニ必要ナル勞務ヲ確保スル爲ニスル
國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ
含ム以下同ジ）第六條ノ規定ニ基ク從業者ノ雇入、使用、解雇、
就職及退職ノ制限ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所
ニ依ル

第二章 從業者ノ解雇及退職ノ制限

第二條 厚生大臣ノ指定スル工場、事業場其ノ他ノ場所（以下指
定工場ト稱ス）ニ於テ使用セララルル從業者又ハ厚生大臣ノ指定

スル範圍ノ從業者ノ解雇及退職ハ命令ノ定ムル所ニ依リ國民職業指導所長ノ認可ヲ受ケタルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ
前項ノ從業者ニ付テハ雇傭期間ノ滿了其ノ他解雇及退職以外ノ事由ニ依リ雇傭關係ノ終了スル場合ニ於テハ引續キ雇傭關係ヲ存續セシムルコトヲ要ス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ國民職業指導所長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第一項ノ指定ハ指定スベキ工場、事業場其ノ他ノ場所ノ事業主又ハ指定ヲ受クベキ範圍ノ從業者ヲ使用スル事業主ニ對スル通知ニ依リ之ヲ行フコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ指定ノ通知ヲ受ケタル事業主ハ其ノ旨ヲ關係從業者ニ周知セシムベシ

第三條 前條第一項及第二項ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニハ之ヲ適用セズ

- 一 陸海軍ニ徵集若ハ召集セラレ又ハ志願ニ依リ陸海軍ノ現役ニ服セシメラレタル場合
 - 二 陸海軍學生生徒（海軍豫備練習生及海軍豫備補習生ヲ含ム）ニ採用セラレタル場合
 - 三 國家總動員法第四條ノ規定ニ基キ徵用セラレタル場合
 - 四 其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合
- 前條第一項及第二項ノ規定ハ國及道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノニハ之ヲ適用セズ

第三章 從業者ノ雇入、就職及使用ノ制限

内閣

第四條 技術、技能又ハ學識經驗ヲ有スル者ニシテ厚生大臣ノ指定スルモノ（以下技能者ト稱ス）ノ雇人及就職ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ國民職業指導所長ノ認可ヲ受ケタル場合又ハ國民職業指導所ノ紹介アル場合ヲ除クノ外之ヲ爲スコトヲ得ズ

第五條 前條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニハ之ヲ適用セズ

- 一 年齢十四年未滿若ハ年齢六十年以上ノ男子又ハ年齢十四年未滿若ハ年齢四十年以上ノ女子タル技能者ノ雇人及就職ノ場合

- 二 人營（應召ノ場合ヲ含ム以下同ジ）ヲ命ゼラレ若ハ徵用セラレタルニ因リ解雇セラレタル者又ハ人營若ハ徵用期間中雇傭期間

ノ滿了シタル者ガ其ノ退營（人營ノ際行フ身體検査ノ結果歸郷ヲ命ゼラレタル場合ヲ含ム）若ハ徵用解除ノ日ヨリ三月以内ニ再ビ原職ニ復歸スル場合

- 三 學校卒業者使用制限令第一條ノ卒業者ノ雇人及就職ノ場合
- 四 國及道府縣ニ於ケル技能者ノ雇人及就職ノ場合
- 五 其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合

第六條 本令施行後國民學校初等科（内地ニ於ケル之ニ準ズベキモノヲ含ム以下同ジ）ヲ修了シ又ハ國民學校高等科（内地ニ於ケル之ニ準ズベキモノヲ含ム以下同ジ）ヲ修了シ若ハ中途退學シタル後二年ヲ經過セザル者ニシテ技能者タラザルモノ（以下國民學校修了者ト稱ス）ノ雇人及就職ハ國民職業指導所ノ紹介

ニ依ルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ國及道府縣ニ於ケル
雇入及就職ノ場合、船員職業紹介所ノ紹介ニ依ル船員ノ雇入及
就職ノ場合並ニ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 年齢十四年以上四十年未満ノ男子又ハ年齢十四年以上二
十五年未満ノ女子ニシテ技能者及國民學校修了者タラザルモノ
(以下一般青壯年ト稱ス)ノ雇入及就職ハ左ノ各號ノ一ニ該當
スル場合ヲ除クノ外之ヲ爲スコトヲ得ズ

一 國民職業指導所ノ紹介ニ依リ雇入レ及就職スル場合
二 指定工場ノ事業主、厚生大臣ノ指定スル事業ヲ營ム者又ハ
厚生大臣ノ指定スル者命令ノ定ムル所ニ依リ國民職業指導所
ノ紹介ニ依ラズシテ雇入ルベキ一般青壯年ノ員數其ノ他雇人

ニ關スル事項ニ付國民職業指導所長ノ認可ヲ受ケタル場合
三 命令ノ定ムル所ニ依リ特定ノ一般青壯年ノ雇入及就職ニ付
國民職業指導所長ノ認可ヲ受ケタル場合

第八條 前條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニハ之ヲ適用
セズ

- 一 第五條第二號ノ場合
- 二 船員職業紹介所ノ紹介ニ依ル船員ノ雇入及就職ノ場合
- 三 命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外農業、林業、畜産業、養
蠶業及水産業ニ於ケル一般青壯年ノ雇入及就職ノ場合
- 四 國及道府縣ニ於ケル一般青壯年ノ雇入及就職ノ場合
- 五 其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合

第九條 厚生大臣ハ勞務供給業者ノ供給ニ依ル從業者ノ使用ノ制限ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十條 前條ノ規定ハ國及道府縣ニ於ケル勞務供給業者ノ供給ニ依ル從業者ノ使用ニハ之ヲ適用セズ

第十一條 國民學校初等科又ハ國民學校高等科在學中ノ者ヲ雇入レ其ノ者ガ國民學校初等科ヲ修了シ國民學校高等科ニ進學セザル場合又ハ國民學校高等科ヲ修了シ若ハ中途退學シタル場合引續キ其ノ者ヲ雇傭スル場合ニ於テハ第六條ノ規定ノ適用ニ付テハ其ノ者ガ國民學校初等科ヲ修了シ又ハ國民學校高等科ヲ修了シ若ハ中途退學スル時ニ於テ新ニ雇入レ及就職スルモノト看做ス

年齢十四年未滿ノ者ヲ雇入レ引續キ其ノ者ヲ雇傭スル場合ニ於テハ第七條ノ規定ノ適用ニ付テハ其ノ者ガ年齢十四年ニ達スル時ニ於テ新ニ雇入レ及就職スルモノト看做ス

事業主其ノ雇傭スル從業者ニ付工場、事業場其ノ他ノ使用ノ場所間ニ所屬ノ移動ヲ行フ場合ニ於テハ本令ノ適用ニ付テハ後ノ使用ノ場所ニ於テ新ニ雇入レ及就職スルモノト看做ス

第一項及第二項ノ場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ新ナル雇入ニ關シ第六條若ハ第七條ノ規定ニ依ル認可又ハ第六條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ依ル認可ノ申請アリタルトキハ其ノ申請ニ對スル認可又ハ不認可ノ處分アル時ニ新ニ雇入レ及就職スルモノト看做ス

第四章 雜則

第十二條 國民職業指導所長本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル認可ノ申請ニ付不正若ハ虚偽ノ事實アリト認ムルトキ又ハ特ニ必要アリト認ムルトキハ認可ヲ取消スコトヲ得

第十三條 第四條、第六條又ハ第七條ノ規定ニ違反スル雇入又ハ就職アリタル場合ニ於テハ國民職業指導所長ハ雇入ヲ爲シタル者ニ對シ雇入レタル者ノ解雇ヲ、就職シタル者ニ對シ退職ヲ命ズルコトヲ得前條ノ規定ニ依リ認可ノ取消アリタル場合亦同ジ

第十四條 厚生大臣ハ從業者ノ雇入、使用、解雇、就職及退職ニ關シ事業主ニ對シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十五條 國民職業指導所長ハ命令ノ定ムル所ニ依リ從業者ノ雇

入、使用、解雇、就職及退職ニ關シ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基ク報告ヲ徹スルコトヲ得

第十六條 厚生大臣、地方長官又ハ國民職業指導所長必要アリト認ムルトキハ從業者ノ雇入、使用、解雇、就職及退職ニ關シ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ當該官吏ヲシテ關係ノ工場、事業場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十七條 前三條ノ規定ハ國及道府縣ノ從業者ノ雇入、使用及解雇ニハ之ヲ適用セズ

國民職業指導所長ハ命令ノ定ムル所ニ依リ國又ハ道府縣ニ於テ
爲ス從業者ノ雇入、使用又ハ解雇ニ關シ從業者ヲ使用スル官衙
（陸海軍ノ部隊及學校ヲ含ム）又ハ道府縣ヨリ通牒ヲ求ムルコ
トヲ得

第十八條 厚生大臣第二條第一項ノ規定ニ依リ工場、事業場其ノ
他ノ場所又ハ從業者ノ範圍ヲ指定セントスルトキハ内閣總理大
臣ニ協議スベシ

第十九條 朝鮮及臺灣ニ在リテハ第六條、第七條、第八條及第十
一條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

朝鮮及臺灣ニ在リテハ年齢十二年以上四十年未滿ノ男子ニシテ
技能者タラザルモノ（以下男子青壯年ト稱ス）ノ雇入及就職ハ

左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ヲ除クノ外之ヲ爲スコトヲ得ズ

- 一 國ノ紹介ニ依リ雇入レ及就職スル場合
- 二 指定工場ノ事業主並ニ朝鮮總督又ハ臺灣總督ノ指定スル者
ニ於ケル雇入及就職ノ場合
- 三 男子青壯年ヲ雇傭シ得ベキ總員數ニ付命令ノ定ムル所ニ依
リ朝鮮ニ在リテハ府尹、郡守又ハ島司、臺灣ニ在リテハ市長
又ハ郡守（澎湖廳ニ在リテハ廳長）ノ認可ヲ受ケタル場合ニ
於テ其ノ員數ニ滿ツル迄ノ雇入及就職ノ場合
- 四 命令ノ定ムル所ニ依リ特定ノ男子青壯年ノ雇入及就職ニ付
朝鮮ニ在リテハ府尹、郡守又ハ島司、臺灣ニ在リテハ市長又
ハ郡守（澎湖廳ニ在リテハ廳長）ノ認可ヲ受ケタル場合

五・第五條第二號ノ場合。
六・國政ニ道、州及廳ニ於ケル男子青壯年ノ雇入及就職ノ場合
七・其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合
朝鮮及臺灣ニ在リテ年齢十二年未滿ノ男子ニシテ技能者タラザ
ルモノヲ雇人レ引續キ其ノ者ヲ雇傭スル場合ニ於テハ前項ノ規
定ノ適用ニ付テハ其ノ者ガ年齢十二年ニ達スル時ニ於テ新ニ雇
入レ及就職スルモノト看做ス
前項ノ場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ新ナル雇人ニ關シ第二
項ノ規定ニ依ル認可又ハ同項ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ依ル
認可ノ申請アリタルトキハ其ノ申請ニ對スル認可又ハ不認可ノ
處分アル時ニ新ニ雇人レ及就職スルモノト看做ス

第二十條 本令中厚生大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺
灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島
ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道
知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳
長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ國民職業指導所長ト
アルハ朝鮮ニ在リテハ府尹、郡守又ハ島司、臺灣ニ在リテハ市
長又ハ郡守（澎湖廳ニ在リテハ廳長）、樺太ニ在リテハ樺太廳
支廳長、南洋群島ニ在リテハ南洋廳支廳長トシ國民職業指導所
トアルハ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ國トス
本令中道府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州又
ハ廳、南洋群島ニ在リテハ南洋群島地方費トシ國民學校初等科

トアルハ樺太ニ在リテハ樺太國民學校令ニ依ル國民學校初等科、南洋群島ニ在リテハ南洋廳國民學校規則ニ依ル國民學校初等科トシ國民學校高等科トアルハ樺太ニ在リテハ樺太國民學校令ニ依ル國民學校高等科、南洋群島ニ在リテハ南洋廳國民學校規則ニ依ル國民學校高等科トシ内地ニ於ケル之ニ準ズベキモノトアルハ樺太ニ在リテハ樺太ニ於ケル之ニ準ズベキモノ、南洋群島ニ在リテハ南洋群島ニ於ケル之ニ準ズベキモノトス

第十三條中第四條、第六條又ハ第七條トアルハ朝鮮及臺灣ニ在リテハ第四條又ハ第十九條第二項トス

附 則

本令ハ昭和十七年一月十日ヨリ之ヲ施行ス但シ内地、樺太及南洋

群島ニ於テ第七條第二號ノ規定ノ、朝鮮及臺灣ニ於テ第十九條第二項第二號及第三號ノ規定ノ實施ノ爲ニ豫メ必要ナル範圍内ニ於テハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從業者移動防止令及青少年雇人制限令ハ之ヲ廢止ス但シ本令施行前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用及本令施行前ニ從業者移動防止令第五條ノ規定ニ違反スル雇人ヲ爲シタル者ニ對スル同令第八條ノ規定ノ適用ニ付テハ本令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

國民勞務手帳法施行令中左ノ通改正ス

第八條第一項第一號ヲ左ノ如ク改ム

- 一 勞務調整令第二條第一項ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケ退職スルトキ又ハ同令第四條若ハ第七條第三號ノ規定ニ依ル認可若ハ

トキ
間令第六條但書ノ規定ニ基ク命令ニ依ル認可ヲ受ケ就職スル

附
録

19
11